

べかぶね

令和元年7月
第317号



浦安市青少年センター 浦安市青少年指導員連絡協議会
〒279-8501 浦安市猫実1-1-1 TEL(351)1111



光るShoe

明海中学校2年 田中 かな
紙とアルミホイルだけでランプシェードを作りました。実際に履けるようなりアルさを追求してハイカットのスニーカーのデザインにしました。こだわったところは、自分の足に合わせて靴底をカットしたことや、和紙を細く折って丈夫にして靴ひものように編みあげたことです。側面の「K」の文字は私のイニシャルで、目立つようにここだけアルミホイルを使いました。

指導された先生から

田村 実枝子
素材に条件がある中で、紙の種類毎の特性を活かし、LEDランプによって美しく光と影の効果が生まれています。靴底やひもを通す部分などは骨組としての強度を考慮して画用紙を用い、側面などは光をよく通すトレーシングペーパーを使っています。それと対称的に全く光を通さないアルミホイルが影となり、点灯時も消灯時も異なる表現で楽しめる生活の中に活かせるインテリアです。

平成30年度浦安市青少年健全育成標語コンクール

- | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|--------|----|-------|
| 最優秀賞 | こんにちは | 地域の華に | 水をやろう | 入船中学校 | 3年 | 澤木 大地 |
| 最優秀賞 | どの手でも | 人を救える | まほうの手 | 美浜北小学校 | 6年 | 猪野 隼祐 |



「べかぶね」の名前の由来

べかぶねとは、漁船の中でも一番小さな船で海苔取り舟のことを言う。青少年が社会という荒波をものがながら必死に生きていく姿が、べかぶねに似ていることから広報紙の名前となりました。

新しい時代を迎えて

青少年補導員連絡協議会

会長 上平 紀子

6月3日、元号

も新たに令和元年

度の定期総会が開

催され、すべての

議案に対して承認をいただき新しい活動がスタートしました。

昨年を振り返り感じますことは、

何といつてもインターネットやスマホ

の日常的な使用が、家族や地域の繋

がり弱めて、ネット上のいじめをは

じめ様々な問題が大人の目の届かな

いところで発生しているということだ

です。また、子ども達を巻き込んだ悲

しい事件や事故も心配されています。

事件・事故を予測することは難し

いですが、学校や家庭、地域、時に

は警察の方々と連携して通学路、遊

び場の安全点検や不審者情報を共有

し、子ども達の安心で安全な日常生

活を見守ることが大切かと思えます。

青少年が心豊かな人間性や社会

性を身に付け育つことは、すべての

大人の願いです。

私も、これからも青少年セ

ンターとともに、補導員の皆様と心を

一つにして青少年に愛情いっぱい

の声をかけてまいりたいと思えます。

どうぞよろしくお願い致します。



青少年補導員連絡協議会

副会長 森本 健二

6月3日の定期

総会を経て令和元

年度の新たな活動

が始まりました。

最近、パトロールをしていて

も怠学・喫煙・飲酒等の問題行動に

よる補導はほとんど見られなくなり

ました。インターネット環境の著し

い進展といった、時代の移り変わ

りとともに、青少年が巻き込まれる

様々なトラブルなどは、屋外からむ

しろ屋内に移行しています。

私達補導員が、その中に入って

いくことはなかなか難しいですが、

もう一度初心に立ち返り、補導活動

について考えるべき時期がきている

のかもわかりません。

これからは、日々のパトロール活

動を続けていくことで、地域を点検

することで小さな変化を見逃さず、

地域の子ども達を見守っていくこと

がより大切だと思えますので、これ

からも、青少年の模範となる行動を

心がけながら、「大人が変われば子

どもも変わる」を信条に、大人にも

声を掛け、輪を広げ地域の人に親し

まれる青少年補導員を目指して取り

組んでいきたいと思えますので、よ

ろしくお願いします。



青少年補導員連絡協議会

副会長 大滝 美佳

総会を経て、令

和元年度がスタ

トいたしました。

青少年補導員の活

動が始まったのは、昭和57年と伺

いました。平成の31年と合わせ、長い

年月地域の子ども達を見守ってきて

下さった補導員の方々に、改めて感

謝の気持ちでいっぱいです。

時代の変化に伴い子ども達を脅

かすものも変わりつつあり、関わり

が難しいこともありますが、補導員

としての基本は子ども達の見守り

です。

幸島美智子氏講演会で「大人の

社会を見直して子ども達の世界を守

て行く！肝っ玉母ちゃんを目指し

て！」とありました。

私も「近所の顔見知りのおばちゃん

」を目指しながら「ためらわず笑

顔で明るく愛のひと声」を掛けて行

きたいと思えます。

皆さま、本年もよろしくお願

いいたします。



青少年センター職員ご挨拶

所長 小澤 浩一

早いもので、着任して2年目を

迎えました。今年度は相談員3名を

含め7名体制とシンプルになりました

。まだまだわからないことも多い

ですが、今後ともご指導いただきま

すようお願いいたします。

主査 平林 栄

配属されて2年目となりました。

昨年度は、主にパトロールによる補

導活動に主眼をおいて取り組んでき

ました。今年度は、今まで以上に頑

張ってまいりますので、センターの

青パトロールカーを見かけました

ら、ぜひ「愛のひと声」をかけてく

ださい。

主任主事 佐々木 久

4月に国保年金課から着任いた

しました。センターの仕事は初めて

ですが、補導員の方々の、関係団体

と協力しながら、頑張っております

のでどうぞよろしくお願いたします

です。

主任主事 須賀 満

堀江公民館から着任いたしました

。センターの仕事は18年ぶりとな

ります。当時のことを思い出しながら

ら、また、新しいことも吸収して取

り組んでまいりますので、お力添え

くださるようお願いいたします。「お

帰り」の愛のひと声をお願いします。



令和元年度 浦安市青少年補導員連絡協議会 定期総会・ブロック会議

6月3日(月)、浦安市文化会館において、青少年補導員連絡協議会定期総会・ブロック会議が開催されました。

総会には、内田悦嗣浦安市長・鈴木忠吉教育長など多数の来賓をお迎えしました。内田市長はじめ皆様からの祝辞では、「みなさんの日頃の補導活動といった地域の方の力が、青少年の非行防止・健全育成には不可欠です。」との言葉をいただきました。

総会では、平成30年度活動報告、決算報告、監査報告、令和元年度の活動計画、予算の審議をしました。

また、会費や慶弔規程などの見直しにより、新たな補導員連絡協議会会則も提案され、いずれも承認されました。その後のブロック会議では、総会を上回る88名の参加があり、理事を中心に自己紹介、地区パトロールの日程や

行事参加の確認、意見交換、情報交換が活発に行われました。

今回は、任期途中で、教員補導員の配置換えなどによるもので、新任補導員は25名となり総勢106名でのスタートになります。退任補導員の方々にあかれましては、街頭補導活動などにご参加いただき誠に有難うございました。新任補導員の方々は、先輩補導員に熱心に活動内容を聞くなど終始和やかな雰囲気でした。

補導員全員が一堂に集まる機会は年間で一日だけです。少子化により子ども数が減少していますが、「地域の子どもは、地域で守り育てる」「子ども達の安全と非行防止・健全育成」を目的とした「愛のひと声」による見守り活動を推進していくことを確認しあい、長丁場の一日が終了となりました。



会長あいさつ



総会の様子



理事紹介



ブロック会議

新任補導員のご挨拶

入船中ブロック 山端 道子

今年度より青少年補導員を務めさせて頂く事になりました。浦安は、とてもきれいで子育てしやすい素敵な街です。これも偏に補導員の皆様のご尽力のお蔭だと思います。これからも子ども達が安全で楽しく過ごせるよう、活動していきたいと思えます。よろしくお願ひ申し上げます。

堀江中ブロック 五十嵐 凌太

今年度より青少年補導員となりました。先輩の補導員から活動の聞くこと、日頃のパトロールや地域行事の時のパトロールを行うことで、浦安の子ども達が毎日安心して住めるようになっていくことを知りました。私自身も、浦安の子ども達のために、パトロールなどを通して、見守っていきたくと思えます。今回の補導員という経験で、子ども達や、地域の方々との交流を通して、浦安の魅力を発見していきたいと思えます。宜しくお願ひ致します。

富岡中ブロック 粟飯原 太希

今年度から、青少年補導員を務めさせて頂いたことになりました。青少年補導員は、非行行為をしている子ども達に、注意をしたり指導をしたりするというイメージがありました。そうではなく、「愛のひと声」を大切に子ども達に関わっていきたくです。また、浦安で安全・安心して生活できるようにしていきます。

退任補導員のご挨拶

富岡中ブロック 中川 裕司

実は・・・今回の退任で・・・四回目の退任となります。(笑) 今回の富岡中学校区の皆様にもあたたかく迎え入れてもらい、毎回のパトロールを楽しみにしていました。また、児童・生徒との関わりだけでなく、地域の方々やパトロールに参加していただいた警察の方々とのあたたかい交流も思い出深いものとなりました。これで終わり・・・とは思っていません。またどこかの中学校区で、補導員に参加したいと思えます。(笑)

関係者の皆様、大変ありがとうございました。

日の出中ブロック 山邊 博子

一年間だけでしたが、多くの方々と一緒に活動させていただけたことは大変貴重な経験になりました。講演会などとても勉強になりました。補導員になり、地域の方々の見守り、支えのおかげで、私たちの子ども達が安心、安全に過ごしていることをとても実感しました。大変感謝しております。日の出中ブロックの皆様には、いろいろなことを教えていただきまして、皆様本当にありがとうございました。



教育長の部屋

子どもたちを守るために

この世にかけがえのない命を授かって生まれてきた子どもたちをどうやって守れるかが、今、私たち大人に問われているような気がします。生まれて間もなく、世の中の何たるものかもわからないまま、虐待によって命を落とした乳幼児、交通事故ルールを守って信号待ちしていても予期しない事故に巻き込まれて命を落とした保育園児、通学時に何の落ち度もないのに暴漢に襲われて命を落とした小学生、いじめや友達との人間関係に苦しんで命を落とした子どもたち等々。これらが個人や個別に要因があるとしてしかとらえることができないのであれば、組織として子どもたちに係っているすべての大人たちは一体何をすれば子どもたちを守るのか？

毎朝、新聞等の様々なメディアからの情報から飛び込んでくる、こうした子どもたちの命がさらされているニュースを聞くたびに、自問自答しています。全国の青少年補導員の数が減少傾向にある、あるいは定員に満たない自治体も多くなっている現状も聞こえてきます。共働き世帯が増え、PTAからの選出が難しいことや、教員の働き方改革等で教員補導員を減らしている自治体も増えてきたという声も聞いています。社

会環境が変容してきている現代社会において、これまでと同じ考え方や方法では無理が生じてきていることも事実です。しかし、かけがえのない子どもたちの命を守るという絶対的な使命は、どんな時代になっても普遍的なものです。

今こそ、子どもたちに命の尊さについて、私たち大人が子どもたちの前で真剣に人生を語ったり、行動を起こしたりすること、生き様をみせることが必要なんだと強く感じている今日この頃です。

本市の青少年補導員連絡協議会の皆様方は、地域の（ここで言う地域とは二つあります。一つは本市のすべてと言った地域と、各中学校区という地域です）子どもたちの安全安心のためという思いを持って活動していただいている方々と自負しています。かつて、私も35年前勤務地の学校で補導員を務めさせていただき、その縁が今でも現会長の上平さんや前会長の富山さん、塩谷さんたちとこうしてつながっています。子どもたちにも、教員補導員はじめすべての補導員の皆さんや地域の方々にも、こうした縁を紡いできた経験を証として残していきたいと思っています。このような人と人とのつながりが、遠回りのようですが、「子どもたちを守る」ことにつながっていくような気がいたします。青少年補導員連絡協議会の皆さん、令和の新しい時代も未来を担う子どもたちのためにどうぞよろしくお願いたします。

教育長 鈴木 忠吉

令和元年度青少年補導員研修会

6月3日（月）、浦安市文化会館において、総会に先立って研修会が開催されました。

昨年度までは、新任補導員研修として実施していましたが、今回より改めて補導員の活動について認識を統一しようということで、補導員全員を対象に実施することにしたものです。

研修会では、最初に、センターより新たに作成した「愛のひと声・補導の手引き」を参照しながら、補導員の身分、パトロールの実施方法などについて説明を行いました。次に、「補導員の心得」のDVDを鑑賞し、自転車の危険通行やたむろしている少年に対する声かけを想定し、先輩補導員を中心に声かけの仕方のロールプレイングを行いました。

今後の活動に少しでも役立てばと考えています。



ロールプレイングの様子



先輩補導員より

補導員研修会に参加して
日の出中ブロック 若林 美和
ロールプレイングでは、ベテランの補導員さんが子ども役を熱演され、説得をする新任補導員さんが向き合いながら話しかける様子など、とてもいい雰囲気で行われました。

子どもを取り巻く環境は近年大きく変化し、危険な状況に巻き込まれることにも繋がっています。こうした変化に対応しつつ、声かけをする活動を続けていくことが子どもたちを守る第一歩なのだと感じました。

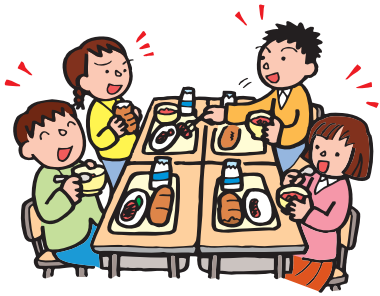
美浜中ブロック 綿貫 麻紀子
私は昨年補導員となり、たくさんの子ども達に声かけをしてきました。喫煙、反抗的な態度など、問題行動のある青少年を見かけたことはありませんが、今後そのような子ども達に指導することがあるかもしれません。この研修では、場面ごとに声かけの具体例を示していただき、大変参考になりました。

研修で学んだことを活かし、これからも地域の子ども達に積極的に声かけをしたいと思っております。



「食育」って何か ご存知ですか？

「食育」とは、「食で育む」ことです。「食」を通して、自然の恵みに感謝する心を育んだり、食事を一緒にして人と人のつながりを育んだりすることも「食育」です。浦安市では、家庭・地域・教育機関・職場・関係団体・市等が一体となって食育を推進できるよう、平成30年度に浦安市食育推進計画を策定しました。浦安市の課題として、食育への関心はあるものの健全な食生活の実践には至っていないこと等がわかりました。特に「バランスの良い食事の頻度」や「農林漁業体験の経験」が少ない傾向にあります。



学童期・思春期においては、人とのつながりや様々な経験の中で生活習慣が育まれる時期です。ぜひ様々な種類の食材・料理を食べる経験や、生産から消費までの過程を知る経験など、「食」の理解を深め、感謝の気持ちや食を大切にする心を育みましょう。そして、子どもたちがそのような経験をたくさんできるよう、地域の皆で見守り、支えあっていきましょう。毎月19日は食育の日です。ぜひ、19日はいつもより少し「食」を大切にしてみてください。例えば、家族そろって食卓を囲んでみたり、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶で作り手へ感謝の気持ちを伝えたり、季節の食材を取り入れてみるなど、ちょっとしたことを意識してやってみましょう。毎月19日は「食」を振り返るきっかけにしましょう。

千鳥学校給食センター
管理栄養士 前野 万里奈

少年非行の現状について

千葉縣市町村青少年行政主管課長会議等に参加して、千葉県警本部生活安全部少年課より、「県内少年非行の現状と警察の取り組みについて」のお話がありましたので、一部をご紹介します。

県内の刑法犯少年の検挙人数は、平成30年は、1,069人で平成16年の7,075人をピークに約7分の1に減少、深夜徘徊や喫煙などの少年の補導人数においても、20,122人で年々減少しています。

そのうち、中・高校生はというと、検挙人数では約6割、補導人数では約5割を占めているとのことでした。

この状況を聞くと、少子化の現状はあるものの、警察の方々をはじめとして関係各位の皆様が実つて、安心できるように一瞬は思えましたが、実際はというと決して楽観視できないようです。

たとえば、電話で詐欺検挙人数を見ると、検挙人数に占める未成年の割合が平成30年は、34・6%



と、平成29年の約2倍と急増しています。

犯罪に加担してしまった理由としては、「友達や地元の先輩に誘われた」「ネットで稼げるバイトを見つけた」といったものだそうです。

周囲の大人が、注意深く子ども達を見守っていけば、少しでも防げる可能性があるのではないかと感じました。刑法犯少年の再犯率は3割と高止まりしている現状も紹介されました。

さらに、SNSに起因する性的被害児童数も増加傾向にあり、その中には小学生も含まれており、低年齢化の傾向があります。

今や、多くの子ども達が携帯電話やスマートフォンを持つようになりました。被害児童を増やさないためにはフィルタリングの利用は必須のようです。改めて家庭などでのルール決めもしなければならぬと強く感じました。

子どもは時代を映す鏡とも言われています。このような状況からしても、非行少年を生まない社会づくりのため、青少年センターは、青少年補導員とともに警察などと連携し街頭補導活動を継続して実施していきたいと考えています。

青少年センター



児童虐待における「子ども家庭支援センター」の役割

昨年度、目黒区と野田市の児童虐待事件から、新聞報道などによって、児童虐待のニュースを目にするのが多くなりました。本市の児童虐待の通報窓口である「子ども家庭支援センター」では、昨年度、児童虐待の疑いがあるケースについて372件の通報を受理し、この数字は過去最多でした。これは、児童虐待そのものが市内に増えたというよりも、事件報道の影響から児童虐待に対する人々の意識が高まり、虐待をされている子どもを発見するケースが多くなったということです。子どもにとっては救われる機会が増えたことと表れ、よい状況と言えると思います。

今回は、このような痛ましい児童虐待を起ささないために、みなさんにご理解いただきたい「児童虐待」のことについて、お伝えしたいと思います。

●児童虐待とは

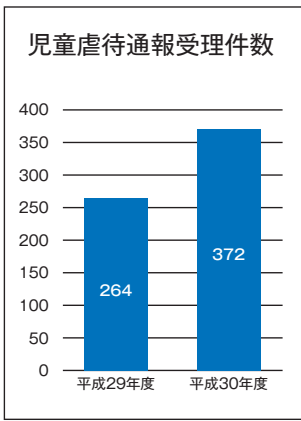
児童虐待の防止等に関する法律（以下児童虐待防止法）では児童虐待を「保護者による18歳未満の子どもに対する身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待」と定義しています。法では、児童虐待事件などで報道されるような身体的な暴力だけではなく、子どもの目の前で両親が罵り合うような喧嘩や暴力を振るうところを見せてしまうこと、衣服が不

潔なままの放置や、保護者の事情で子どもを学校に通わせないことも児童虐待にあたります。児童虐待防止法は、より軽微な段階の虐待も法の対象とすることで、児童虐待を早期に発見し、子どもへの影響が大きくなるような早期に対応することを目指しています。

●もしかして虐待かも？と迷ったらまず相談・通報を

児童虐待防止法では、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市（中略）若しくは児童相談所に通告しなければならない」としています。ここで重要なことは、「虐待を受けたと思われる児童を」というところで、子どもが「虐待されているかもしれない」と思った段階で市や児童相談所に相談しましょうということ。たとえ虐待ではなかったとしても、相談をしてくれた人が責任を問われることは一切ありませんし、相談をしてくださった人が特定されないよう対応します。

虐待をしてしまう保護者は、子育てに一生懸命になりすぎて、どうしていいの



か分からなくなっていたり、悩みを一人で抱えて、ストレスから必要以上に子どもにあたってしまったっている場合が多いようです。

「気になる子どもがいるんだけど・・・」の一声が苦しんでいる子どもと保護者への支援の「はじめの一步」になります。

子どもたちの笑顔のために、迷わず相談ください。

●毎日、子育てに向き合っている保護者の方へ

子どもが言っていることを聞いてくれない、自分の時間が持てないことで、不安な気持ちになったり、怒ってしまったりすることもあると思います。悩みや不安を抱えることは決しておかしなことではありません。人に相談してもなかなか問題が解消できなかったり、人には相談し辛かったりすることももあるかもしれません。そんな時、子ども家庭支援センターには専門の相談員がいますので、お気軽にご相談下さい。

●相談・通報窓口

- 浦安市子ども家庭支援センター
☎047(351)8041
- 市川児童相談所
☎047(370)1077
- 夜間・休日お急ぎの場合は、児童相談所
全国共通ダイヤル24時間365日
☎189(いちばやく)



2019年度千葉県青少年補導員連絡協議会代議員総会

6月21日（金）市川市生涯学習センターにおいて千葉県青少年補導員連絡協議会代議員総会が開催されました。本市からは、青少年センターから2名、補導員から5名、総勢7名が参加しました。

この総会では、県内17市の補導員連絡協議会の代議員が集まり今後の方針等について話し合われます。今年度の議題については、平成30年度の事業報告、決算報告及び監査報告、2019年度の運営方針と活動の重点、予算案の他、役員について審議され、すべて承認されました。

今回の総会は、令和最初の総会ということもあり、新しい時代に向けて熱心に話し合いがされ、新しい時代を担う子どもたちの非行を未然に防ぎ、健全な育成を促す「愛のひと声」活動の重要性を再認識する大会となりました。





犯罪と保護司の役割

毎日のように、事件、犯罪の報道がされ、これらの罪を起こした人を処罰することは必要なことです。

しかし、立ち直ろうとする人を社会が門戸を閉ざすことなく、多様な人を受け入れてくれることが非行を生み出さないことにつながるようにも思えます。また、「信じてくれる人がいる」「必要とされる居場所がある」ことも大切なことです。

私達、保護司は、保護司法に基づいて法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員です。職業は、農林水産業、製造業、販売業、建築業、公務員、住職、主婦と幅広い分野の方々が活躍しています。

保護司としての役割の一つは、



事件を起こした人や、非行を犯した少年が事件を再び繰り返さないように、定期的に面接し、地域社会において生きる手助けをし、立ち直りを促すということです。そして、もう一つは、専門の保護観察官と協力して、指導と助言を行うことであり、これが、「保護観察」と呼ばれる制度なのです。この指導が再犯を未然に防ぐ取り組みです。

毎年7月は、「社会を明るくする運動」の強化月間です。中学生を含めた関係機関のご協力とご理解をいただいて、明るい社会を築こうと全国運動の実施、さうには、更生に励む人々への理解と協力の呼びかけを行っています。また、少しでも、多くの人々にこの運動について知って頂くことが、明るい社会につながることを願う活動となっています。

犯罪、非行をした人達は、いずれまた社会に戻ってきます。

立ち直るためには、本人の強い意志と自覚と周囲の人々の支え、そして地域社会のお力添えが何よりも必要です。

保護司・浦安市青少年センター
運営協議会委員 草場 聖子

始業式・早朝パトロール

(4月8日月曜日)

新学期が始まる始業式に合わせ、青少年補導員と青少年センター合同で、早朝パトロールを実施しました。



当日はあいにくの雨でしたが、久しぶりに元気に登校する子ども達の姿がありました。補導員は、校門に立ったり、通学路を巡回し、「おはようございます」と笑顔であいさつを交わして、見守り活動を行いました。

中央パトロール

○3月13日(水)Cパトロール

浦安駅周辺のゲームセンターや公園などを巡回しました。不審者情報が多く寄せられていることもあり、すれ違う子ども達にいつもより多く「気をつけて帰ってね」と声かけをしました。

○4月3日(水)Aパトロール
新しく一部開園した浦安公園では、子ども達が新しい遊具で楽しそ

うに遊んでおり、周囲には、ママも多かったのが声をかけられました。

また、青少年館や東野児童センターなどの子ども達の多くいる施設に立ち寄り職員と情報交換をしました。

○4月4日(木)Bパトロール
春休み期間中であるため、公園内で子ども達が遊んでいました。自転車の二人乗り・並走等は見受けられませんでした。

○4月24日(水)Dパトロール
自転車の二人乗り・並走等は見受けられませんが、無灯火走行(大人)9件に声をかけました。

補導の状況

(平成31年2月1日～令和元年5月31日)

行為別	人数
总学	0
喫煙	0
飲酒	0
たむろ	0
夜間ゲームセンター	0
自転車二人乗り	24
自転車危険走行等	45
帰宅指導	17
その他	1
合計	87

パトロールの実施時間

Aパトロール 10時～12時
 Bパトロール 14時～16時
 Cパトロール 16時30分～18時30分
 Dパトロール 19時～21時

地区パトロール

(2月～5月までの)

浦安中ブロック

月二回のパトロールは、広範囲のため当代島・北栄地区と猫実・海楽地区の二つに分けて、交互にパトロールをしています。19時から始めていますが、ほとんどの子どもたちには会いません。浦安駅前のゲームセンターは大人がゲームをしていましたが子どもの姿はありませんでした。店員さんの話だと「最近では、18時以降には子どもだけではないですね」と言っていました。当代島のたんぼぼ子ども遊園にゲームのレイドバトルで大人が15名ほど集まっていますが、やはり子どもはいませんでした。

堀江中ブロック

2班に分かれて富士見、舞浜地区と堀江地区をパトロールしました。19時30分頃、しおかぜ緑道で下校中の高校生男子とすれ違い無灯火だったので声をかけました。また、中学生二人と小学生二人が遊んでいたの、遅くならないように声をかけました。

19時30分頃、富士見三丁目付近で小学生男子一人と20時10分頃、小学生女子に会い両者には気を付けて帰るよう話を別れまし

た。その他、大人の自転車無灯火にも声をかけました。

見明川中ブロック

ブロック会議で小学校の先生よりお話のあった弁天二丁目の通学路を確認しましたが、その時点では問題ありませんでした。

パトロール 日誌



伝平橋の上り、下りの歩道は急坂で自転車も多く、かなり危険だと思いました。

16時30分頃、今川街区公園では、6人の児童が遊んでいたの、しばらく見守りし、チャイムが鳴ったら帰るように声をかけました。

富岡中ブロック

富中ブロックでは、東野小学校前で登校する子どもたちに挨拶運動をしてから朝のパトロールを行っています。

近ごろ少し暖かくなってきたこともあり、東野北街区公園で子どもたちが水風船で遊んでいるようです。その割れたゴムが散乱していることが度々ありました。夕方のパトロールでは、陽がのびてまだ遊んでいる子どもたちも多くなってきたので、あまり遅くならないように声をかけています。

美浜中ブロック

海楽公園では低学年の男女数名が遊んでおり、元氣よく挨拶を返してくれました。

こどもの広場でサッカーをしていた男児のボールが、低いフェンスを越えて自治会集会所の敷地内に入ってしまった。その度に破れたネットの穴をくぐり、ボールを取りに行く姿が見られました。資材などもあり危ないので、子ども達にはボールがフェンスを超えないように遊んでねと声をかけました。

入船中・高洲中ブロック

高洲小学校の下校途中の子ども達に声をかけながらパトロールをしました。近所に出来たラグビー場では、各国代表チームの練習が始まるので、今後、見物人が増え、車やバイク等に注意が必要になると思います。

入船4丁目から三番瀬沿いをパトロールの後、駅前交番に立ち寄

る。交番のお巡りさんの話によると、午後1時30分頃、入船公園で高校生が成人男性に絡まれ、胸ぐらをつかまれ、蹴られてたそうです。高校生は病院で診断書を取って訴えるつもりとのこと。白昼おきた事件に、補導員一同驚きました。

日の出中ブロック

日の出小と日の出南小正門前に集合。2～3のグループに分かれ通学路をパトロールしました。途中パトカーの巡回に出会ったりしましたが、寒霧の深い朝でもあり、車通りもいつもより少なく、通学路は閑散としていました。子どもたちは元氣に挨拶を返してくれ、また、自分たちから進んで挨拶してくれる子も増えたように感じました。

その後、日の出中学校に集合、校門前で声掛けしながら見守り後、通学路をもう一度パトロールし解散しました。

明海中ブロック

新町は公園も多く、不審者もたまに出没するので公園やコンビニなどを中心にパトロールしています。子ども達も補導員のことをわかってくれ元氣に挨拶してくれま。これから暑さに向かい事件事故のない様に気を配っていきたいと思います。

行事予定

- 7月
 - 市補連第3回理事会 18日(木)
 - 県下一斉合同パトロール 26日(金)
 - 第40回浦安市花火大会パトロール 27日(土) 中止の場合は28日(日)
 - 8月
 - 納涼盆踊り大会パトロール 14日(水)・15日(木)
 - ※両日雨天中止(16日)
 - 市補連第4回理事会 22日(木)
 - 9月
 - 始業式・早朝パトロール 2日(月)
 - 第2回ブロック会議 6日(金)・10日(水)・12日(金)・19日(木)・20日(金)
 - 市補連一日研修 13日(金)
 - 千葉県補導員大会(我孫子市) 28日(土)
 - 10月
 - 市補連第5回理事会 17日(木)
 - 第22回浦安市民まつりパトロール 19日(土)・20日(日)
 - 11月
 - 県下一斉広域列車パトロール 8日(金)

雑感

青少年補導員をやらせていたが、ほぼ1年が経過しました。このような活動に参加していただければ、登校時の児童の様子や、放課後の地域の状況を把握し観察することなどがなかったらどう思うと思います。不審者情報は時折あるものの、担当地域では大きな事件・事故もなく、任期を満了できそうです。青少年育成活動のほんの一端ではありますが、来期も地域パトロールを通して貢献していきたいと思っております。(J・M)

